



理事長のごあいさつ



理事長:中川原 章
(なかがわら あきら)

熊本地震で被災された患者さんからの言葉

平成28年4月14日午後9時26分、熊本県益城町付近を震源とする震度7の地震が発生し、続いて本震と思われる第二波が4月16日午前1時25分に起こりました。好生館も即座にDMATを派遣し、災害対策本部設置後、県、大学、医師会等と連携をとり、これまでに計7名の重傷患者さんをドクターヘリ等で受け入れ、全力で対応しました(外来受診の被災者は12名)。残念ながら一名がお亡くなりになりましたが、残り6名の方々は、心の傷を残しながらも、6月初旬までに無事退院されました。

その中のお一人から、退院時に以下の様なお言葉をご意見箱にいただきましたので、紹介させていただきます。

「益城町 唯の熊本県人より」と冠して、「私は今回の地震で、ヘリコプターで此の地にまいりました。そして佐賀県県民の人と心の絆の深さを身に沁みて感じさせられました。そして佐賀の県民性の心の優しさを否と言う程知らされました。仔細は今 此処に書き尽くせませんが、隣人として深く感謝申し上げます。近くて最も頼れる隣人として感謝致しております。つかみ所の無い様な言葉でありますが、唯唯信実として文を書かせて戴きました。(原文のまま)」

好生館職員からの寄附及び義援金は、自治体病院の仲間である倒壊した熊本市民病院へ贈呈させていただきました。熊本地方の地震は現在も完全には収まっていませんが、今回の地震で被害を被られた地域及び住民の方々の一日も早い復興を心より祈念いたします。

また、今回の熊本地震に際して献身的に奉仕活動をしていただきましたすべての好生館職員の皆様に深く感謝申し上げます。